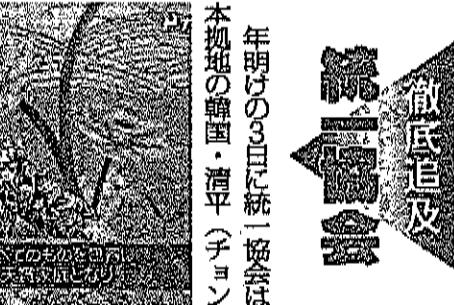


韓總裁 献金集めの指示

不当な献金勧誘を規制する法律（救濟新法）が昨年末成立しましたが、統一協会（世界平和統一家庭連合）は今年に入ても高額献金につながる指示を信者たちに出しています。指示を出したのは韓總裁（韓國・清平）です。信者たちは、高額献金の被費が続いていることを懸念しています。

（統一協会取材班）



本拠地の韓國・清平（チヨン）

年明けの3月1日統一協会は本拠地の韓國・清平（チヨン）で、「指導者新年賀礼金」を開催しました。統一協会のネットアソシエーションによる会合には韓總裁が出席。現地に集まつた約800人と各國の指導者約1600人に対して、あさりやじんな指示をしました。「天寶（てんぱう）家庭となり、人類の前に勝利者として誇らしく尊敬される世をなんとかねむかうに願います」

靈界でよい待遇

天寶家庭とは何か。統一協会の徳野英治会長（当時）は、天寶家庭について集団結婚した信者家庭の「ゴール」であると強調をしています（2020年）。この中で徳野氏は、天寶家庭になるかなひなかで、死後に「靈界での永遠の立場とその生活」が違つてしまふと述べています。

天寶家庭になれば、死後は靈界でみらい待遇が得られる。と信者をあおつて、形です。信者は絶対服従

1個家庭が430代前まで

の先祖供養を終えるには、1000万円以上の獻金が必要になります。当然、一般的の家庭には重すぎる負担です。本総は統一協会が天寶家庭を決める信者マニュアルを入手しました。これによると△430代前までの先祖供養（先祖解縛・先祖祝福）の運成△430家庭を集團結婚した信者に対する△礼拜と獻金を

声がでています。

3日の新年会合では、方相逸（パン・サンイル）神日本大總会長も「靈葉だけではなくハッパをかけました。方会

長は日本協会を指導する立場であり、日本の信者たゞレッシャーをかけていたとの見方も出ています。→関連③面

新年会合で「天寶家庭なれ」

4.5大審査分野

分野	内容	基準
先祖供養	430代先祖祝福完了	修祓落拂竹面観音、または430代先祖祝福完了勘証書
兵旗賛唱	430家庭兵旗祝福完了	慶成本部発行勘証書
扶助貢金	兵旗祝福勘金納付	慶成本部発行確認書、または感謝勘金納付書（海外開域の場合はのみ適用）
信物	礼洋および献金	牧養者評価
受賞	会長表彰 各1点 眞の父母難義彰 必9点	受賞既得
	合計	100

統一協会の天寶家庭を審査するマニュアル。100点満点で85点以上あれば合格として審査されます

新しい手法

元統一協会信者
ルボライター
多田文明さんの話

「天寶家庭」というのは、私が信者だったときはなかった考え方です。天寶家庭になるには先祖解縛で多類の献金などが必要です。新しい資金の手法を統一協会がつづり出したといえます。開祖文鮮明の死去以降、妻の韓總裁が発する「み言」は、信者にとって神様の言葉です。韓總裁が絶対にやらないといけないといえば、マインドコントロールされている信者は献金を続けます。

吉澤信者によると、天寶家庭は、開祖文鮮明が死去（12年）した後、妻の韓總裁が総裁になつて急に出てきた「教義」だといいます。現在、統一協会では韓總裁がメシア（救世主）と辯護つかれていました。韓總裁の発言は「み言（みことば）」と呼ばれる信者は絶対に従わなければなりません。